

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	( )
担当部課名	経済部	農政	課	農業振興 班
事務事業名	㈱神奈川食肉センター食肉流通施設整備事業補助金		事業コード	31510

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした産業の振興をめざします	事業開始年度
基本施策名	第5節	都市農業の振興	13
施策名	第1施策	安定した農業経営の確立	年度

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
㈱神奈川食肉センターが行った食肉流通施設整備事業に係る本市負担分を、金融機関への償還期間に併せ平成13年度から平成27年度まで支援する。			
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
・整備資金償還事業費補助 1,720,000円		県が策定する食肉流通合理化計画を踏まえた食肉センターの再編・整備を促進するとともに、食肉公社の運営及び施設整備を支援します。	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～ 年度

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a	b	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額				
	人員・時間数				
	人件費				
	その他経費				
	合計	0	0	0	0
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価	A:達成している (100%) B:一部達成していない(100%>80%) C:達成していない (80%>)	= 、 、 の平均値 =
$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由:		
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	理由: これまでの食肉センターに比較し、高度な衛生管理が行え、更に本市単独ではなく、平塚市、厚木市の食肉センターも統合した(株)神奈川食肉センターの稼働は、民間のノウハウや活力を十分に活用したものである。
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価	A:妥当である B:一部妥当でない C:妥当でない	理由: 相模原市食肉センターを存続させた場合には、法改正に合わせた大規模な施設改修と以降の運営補助が継続的に必要とされるが、平成27年度までの約13億円の補助は多額ではあるが限定的であり費用対効果は高いものと考えられる。
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが妥当か		
評価	A:代替の可能性ない B:代替の可能性低い C:代替の可能性高い	理由: 平成14年4月1日より、(株)神奈川食肉センターが事業を継承し営んでいる。
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価	A:満足できる B:一部満足できない C:満足できない	理由: より新鮮で安全な食肉が安定的に供給されることにより、市民の満足は十分に得られる。
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価	A:有効である B:一部有効である C:有効でない	理由:

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> <p>すでに完了した。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> <p>本事業は、すでに借り入れた借入金の償還に対する補助金支出であり、改善の余地はない。</p>

7 総合評価

評価	▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方			
<input type="checkbox"/>	継続	説明	
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input checked="" type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--